



# 決算説明会資料

2014年3月期 第1四半期(2013年4月1日～2013年6月30日)

2013年8月2日

株式会社アイ・アール ジャパン (6051)

本決算説明会資料は、決算情報の開示のみを目的として当社が作成したものであり、日本国、米国またはそれ以外の一切の法域における有価証券の買付けまたは売付け申し込みの勧誘を構成するものではありません。また本決算説明会資料の作成にあたり、当社は当社が入手可能なあらゆる第三者からの情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本決算説明会資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本決算説明会資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本決算説明会資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。

---

# I . 2014年3月期第1四半期業績報告

## 2014年3月期第1四半期 決算ハイライト

(百万円)

	2014/3期 第1四半期 実績	前年同期比	増減	2013/3期 第1四半期実績 (前年同期比)
売上高	1,216	34.5%	312	904 (18.0%)
営業利益	408	30.6%	95	313 (26.0%)
経常利益	334	7.3%	22	311 (25.5%)
四半期純利益	198	19.9%	33	165 (41.6%)

- ✓ 当四半期は、売上高が前年同期を34.5%上回って好調に推移した結果、営業利益が同30.6%増となりました。
- ✓ ライツ・オフリングに係る株式交付費77百万円の発生等により経常利益は同7.3%増に留まりました。



### 業績

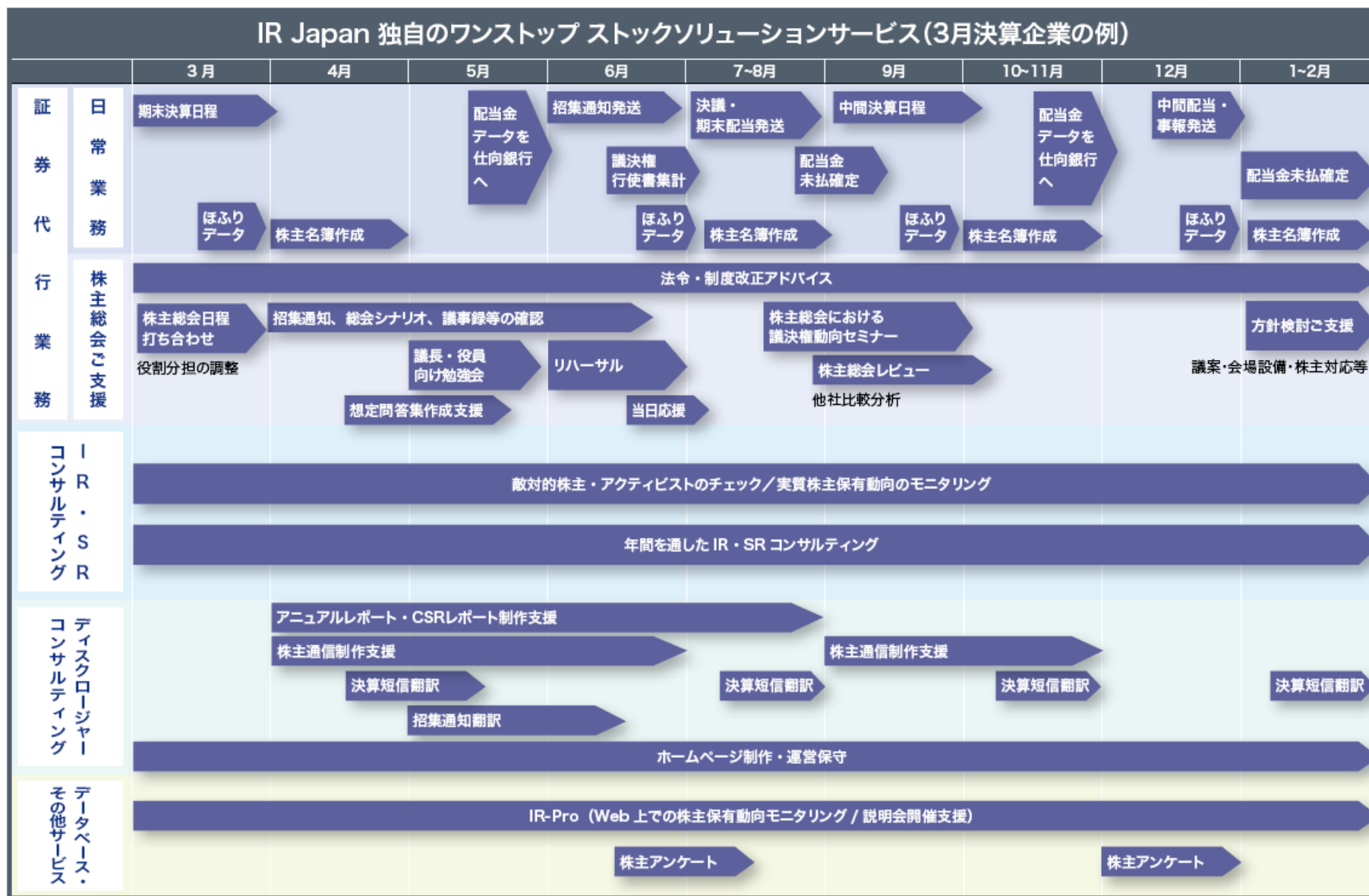
- ✓ 主力のIR・SRコンサルティングが増収を牽引
  - 証券代行の新規営業を好機にIR・SRコンサルティングの顧客が順調に増加
  - 経営方針の対立や大株主の反対行使に起因する大型案件が大幅に増加
  - 新しく開始したライセンス・オファリング関連業務が収益に寄与
- ✓ 証券代行業務が本格的に稼働(当四半期における売上高は限定的)
  - 受託決定企業数は14社、管理株主数52,009名(2013年8月1日時点)
  - 株主アクセス数・データ処理件数は延べ30万件超

### 取組

- ✓ 日本初コミットメント型ライセンス・オファリングを実施
- ✓ 総合株主データベースシステムの拡張開発(IBM社と共同開発予定)



# 証券代行の新規営業を好機にIR・SRコンサルティングの顧客が順調に増加



# 証券代行業務が本格的に稼働

## 【対応した証券代行業務の一例】

### ● 証券代行業務の一般事務

- ✓ 株主名簿作成
- ✓ 配当計算
- ✓ 配当に係る支払調書作成
- ✓ 住民税納付代行
- ✓ 期間中配当金支払処理
- ✓ 未払(期間後)端数株式  
処分代金の支払事務
- ✓ 未払(期間後)配当金の  
支払事務
- ✓ 買取請求処理
- ✓ 預託金の管理
- ✓ 返戻郵便物の管理
- ✓ 株主優待発送対応

### ● 株主総会事務対応

- ✓ 招集通知の発送
- ✓ 議決権行使書集計  
(行使期間中)
- ✓ 議決権行使WEB対応
- ✓ 東証PF対応
- ✓ 総会リハーサル指導
- ✓ 当日集計
- ✓ 決議通知の発送
- ✓ 臨時株主総会(種類株)

### ● コーポレートアクション対応

- ✓ スtockオプション行使処理
- ✓ 優先株式の新規記録
- ✓ 第三者割当増資
- ✓ 株式分割処理
- ✓ IPO対応

### ● ライツ・オファリング対応

- ✓ 割当通知発送
- ✓ 新株予約権原簿作成
- ✓ 新株予約権の振替処理
- ✓ 交付財産処理



# 当社ライツ・オフリングの実施結果

## 権利行使割合

(一般投資家権利行使期間の  
本新株予約権の発行総数に対する割合)

最高の98.3%

⇒現時点で確認できる3社の平均は90.1%  
大株主である代表取締役社長・CEO 寺下史郎(62.47%保有)を除いた一般投資家の  
行使率でも95.5%となります



## ファイナンス期間

(割当決議日から行使期間終了日  
までの日数)

最短の49日

⇒現時点で確認できる8社の平均は77日



## 希薄化率

(割当決議日前日の時価総額に対する  
調達予定金額(行使率100%)の割合)

最小の3.9%

⇒現時点で確認できる8社の平均は54.2%





## 2014年3月期第1四半期 サービス別売上高 実績

(百万円)

	2014/3期 第1四半期実績 (前年同期比)	2013/3期 第1四半期実績 (前年同期比)	増減
IR・SRコンサルティング	1,061 (42.7%)	744 (18.6%)	317
ディスクロージャー コンサルティング	101 (▲3.8%)	105 (20.8%)	▲3
データベース・その他	53 (▲2.4%)	54 (5.9%)	▲1

### IR・SRコンサルティング

- 証券代行の新規営業を好機にIR・SRコンサルティングの新規顧客が増加
- 経営方針の対立や大株主の反対行使に起因する大型案件が大幅に増加
- 新しく開始したライツ・オファリング関連業務が収益に寄与

### ディスクロージャーコンサルティング

- ツールコンサルティング(Annual Report、株主通信等の企画・作成支援)は、IRサイト構築サービスの受託が増加し、増収
- リーガルドキュメンテーションサービス(企業再編やM&A時における各種英文開示書類の作成や和文資料の英訳等)は収益性の高い案件に特化した結果、減収

### データベース・その他

- IR人材教育サービスの講座開講時期の変更による売上高の減少



## 2014年3月期第1四半期 費用内訳

(百万円)

費用科目	当四半期	前期比	要因
営業費用(①+②+③)	807	+216	
①外注費	390	+243	売上高の増加
②その他経費	482	+12	
人件費	300	+16	人員増加
営業関連費	30	+6	営業強化による旅費交通費増加
専有設備費	87	+7	証券代行システムの償却費増加
その他	63	▲17	のれん償却額減少(前期末まで発生)
③仕掛品の影響	▲65	▲39	

営業費用:当社では就業時間に応じて人件費等を売上原価及び販管費に各々計上しているため、売上原価及び販管費の計上額が就業時間によって大きく左右されます。そこで人件費等の各費目について、売上原価及び販管費を合算することで、就業時間の変動に影響を受けない分析を行っております。

## 2014年3月期第1四半期 B/Sの要点

- 純資産は、ライツ・オファリングの実施による1,012百万円の増加等により、2013年3月期末に比べ1,129百万円増加し2,610百万円となった。
- 一株当たり純資産は、2013年3月期末の878.28円から60.2%増加し1,407.04円となった。
- 自己資本比率は、2013年3月期末の71.6%に比べ、+6.3ptsの77.9%と財務体質が一層強固となった。
- ライツ・オファリングの実施により、2013年6月末時点の自己資本規制比率は614.9%に達し、総合株主データベースシステムの拡張開発が可能となった。

---

## Ⅱ． 当社を取り巻く事業環境

## 当社を取り巻く事業環境

- 外国人投資家の反対票の増加
  - ✓ 社外取締役不在企業の代表取締役に対する反対票の増加
- スチュワードシップコードの日本国内導入への気運の高まり
- 国内機関投資家の議決権行使の厳格化
- 個人株主の株主総会への参加数増加(=議決権行使の増加)
- 株価上昇を活用したファイナンスの増加
  - ✓ 公募等における既存株主重視の流れ(実質株主の把握が必要)
  - ✓ ライツ・オファリングの普及の兆し

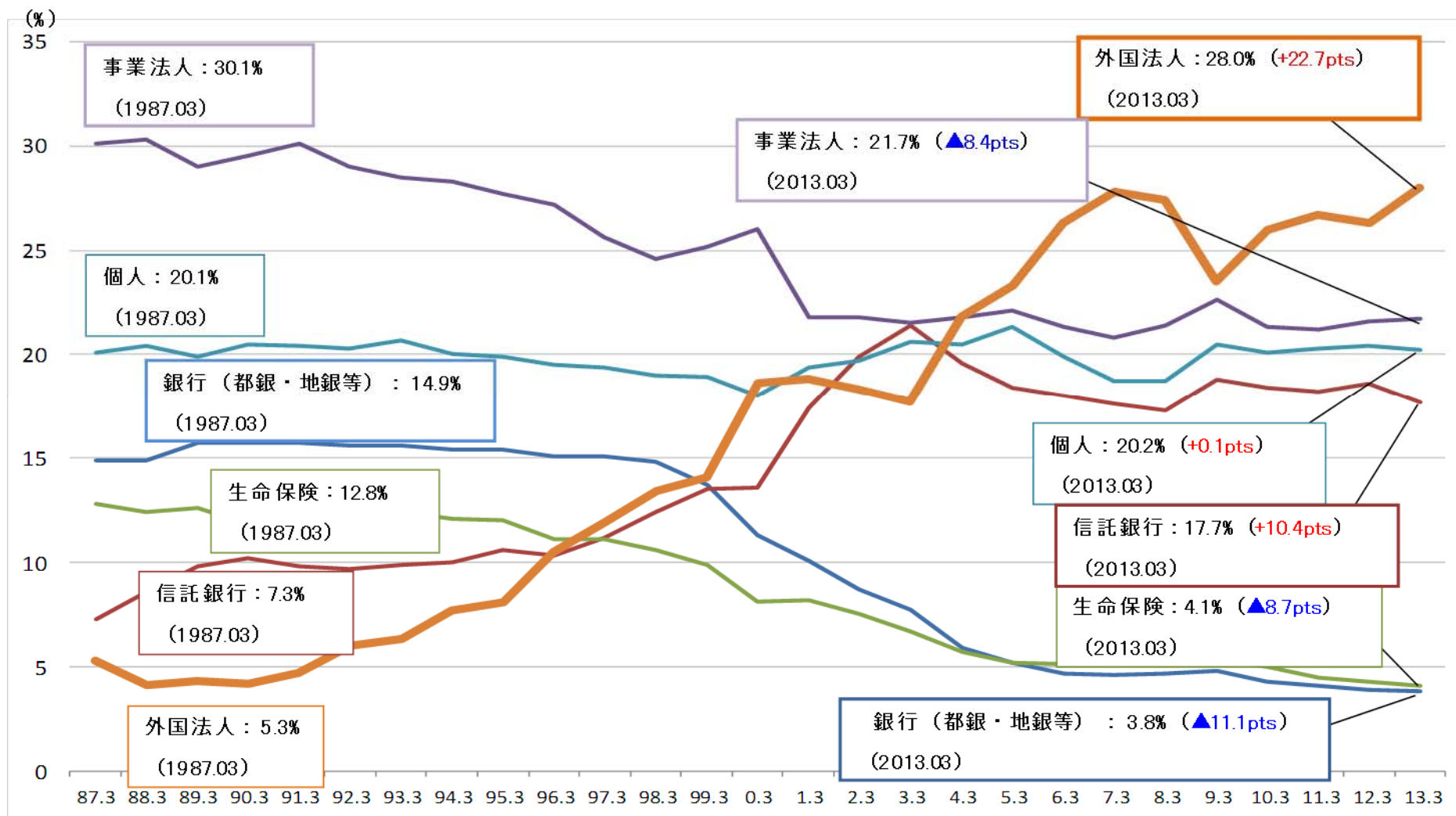


崩れゆく安定株主頼みの株主総会賛成票確保



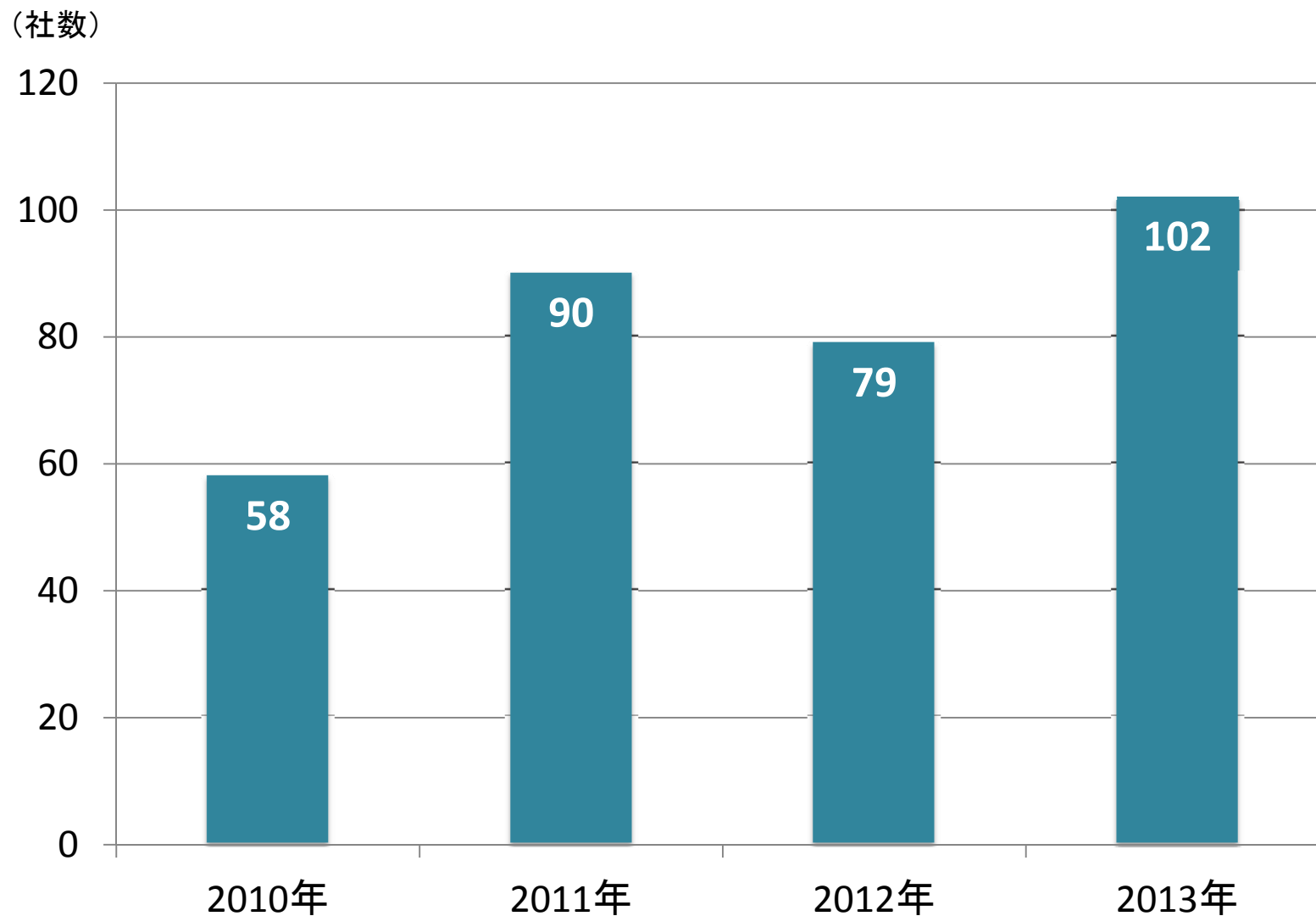
# 日本株市場における投資主体別保有比率の推移

※括弧内は、1987年3月末対比における保有割合の増減



出所: (東京証券取引所等「平成24年度株式分布状況調査」)

## 30%以上の反対行使の議案があった企業(4年間の推移)





## 証券代行事業

### IR・SRコンサルティング

株主提案権の行使、敵対的買収の動きなど、増加する有事案件への対応強化

- ✓ 実質株主判明調査
- ✓ プロキシアドバイザー
- ✓ 敵対的買収防衛コンサルティング 等

多数の上場企業から依頼されている、委託先決定のためのコンペ案件への対応強化

- ✓ 株主名簿管理人業務
- ✓ 株式事務業務

### ライツ・オファリング関連業務

日本国内において普及が見込まれるライツ・オファリングに関する支援強化

- ✓ アドバイザリー業務
- ✓ インフォメーションエージェントサービス
- ✓ 10%テスト 等

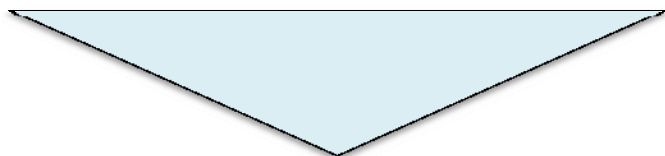
市場規模 約1,000億円

高い競争力を有する証券代行事業を中核とし、  
IR・SRコンサルティング及びライツ・オファリング関連業務を強化



## 2014年3月期 証券代行業の状況

- ✓ 受託決定企業数は14社、管理株主数52,009名（2013年8月1日時点）
- ✓ 株主数の非常に多い企業でのコンペ開催が複数決定
- ✓ 受託社数増加に向け、組織的な営業活動を実施
- ✓ 今後の受託社数の増加に備えて取扱可能株主数の拡張のためのシステム開発を実施（IBM社と共同開発予定）

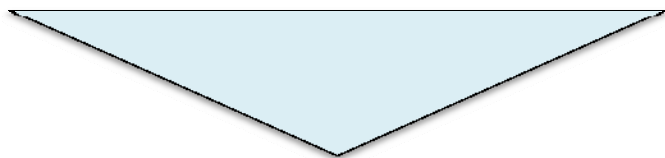


中長期的な受託シェア拡大に向けて着実に前進



## 2014年3月期 ライツ・オファリング関連業務の状況

- ✓ ライツ・オファリング普及の兆し(2013年7月31日時点で10社実施)
- ✓ 新しく開始したライツ・オファリング関連業務(アドバイザー、インフォメーションエージェント等)を受託開始
- ✓ ファイナンス期間短縮を目的とする当社証券代行採用の動き
- ✓ REITにおけるライツ・オファリング実施解禁(来年以降)



ライツ・オファリング関連業務の収益機会拡大



---

## Ⅲ. 業績予想と株主還元

## 2014年3月期 通期業績予想(2013年4月12日時点)

(百万円)

	2014/3期 通期業績予想	前期比	増減	2013/3期 通期実績 (前期比)
売上高	3,360	9.9%	301	3,058 (13.0%)
営業利益	813	32.7%	200	612 (26.4%)
経常利益	742	22.0%	133	608 (24.6%)
当期純利益	423	31.8%	102	320 (49.2%)

## 2014年3月期 年間配当について

2014年3月期の年間配当は、2013年4月12日時点の通期業績予想に基づき、年間配当**90円**（配当性向38.9%）とします。

中間配当は40円とし、期末配当を50円とする予定です。

(参考)1株あたり配当金の推移

	第2四半期末	期末	年間
2014年3月期 (予定)	40円	50円	90円
2013年3月期 (実績)	22.5円	47.5円	70円
2012年3月期 (実績)	-	45円	45円



**Your Capital Market Intelligence**

**IR Japan**



**株主と企業を結ぶコンサルティング・パートナー**

Your Capital Market Intelligenceとは、IR Japanが発行企業、投資家の皆様の資本市場でのリスク回避や多種多様なニーズへの対応をコアビジネスとし、独自のIntelligence(高度な情報を駆使して解決する能力)をフル活用し、持続的な成長を加速させることを示すコンセプトです。